

2022/4/29~30 今シーズンラスト！ニセコスキーツアー2Days

Day1 チセヌプリ東斜面とニトヌプリ北峰 天候:曇り、微風、気温5-10℃位 全行程4.7Km、所要4時間28分
CL藤木晴、AL西田、酒井、水江、太田、BL石井、内山、笹山、八重樫、宇田、CL小山内、栗山、津川、川村、竹内

GW初日の2日間、今シーズンのフィナーレを飾るスキーツアー。道外遠征の夢は2年続けてコロナに阻まれました「近くにいい山あるじゃないの！」ニセコを味わい尽くすスキー三昧の2日間。まっさんヒュッテの温泉・お泊り付き。今季の滑り納め、天候にも恵まれ登りまくり滑りまくり。それでも名残惜しい雪解け、もうスキー愛が止まりません。

Scene1 チセヌプリ東斜面 パノラマライン開通後の期間限定コース 春スキーの聖地

夏道の急斜面を登ります。最大斜度33度。上に行くほどきつくなる。締まったザラメではキックターンが難しい両足ガバツと思い切って開き、しっかり踏ん張れ。汗が噴き出す、ああしんどい。下りは極上の斜面が待っている山頂付近は台地状に平たい。プリンのてっぺんは雪が融けている。スキーを担いでハイマツ遭ぎだ。



Pは満車。その後も続々やってきて道路にあふれるほどの人気の山



堅ザラメの急斜面に苦戦、ハイマツ横で一休み、道路がはるか下



背後にニト、アンヌプリ、羊蹄。遠く余市岳。Sシュー班健脚揃い直登グイグイでスキー班と同着。スキーB班はシートラであがってきました。



山頂、全く雪がありません。雪解けが早いよう。たくさん降ったの



あれは蘭越幌内山かな～賀老山かな
ハイマツジャングルと急な
斜面を迂回し北東方向へ。
日本海に向かってDrop in !



タイムライン

9:00 P出発
10:00 標高1120m
10:23 チセ頂上着
10:43 滑走開始
10:50 方向転換
10:57 駐車場
1本目滑走、上々。
Pにて早飯、春は
これがいいですね。

なかなかいい斜面、来年はここを滑りましょう。
先行したスノーシュー班はどこへ？我々はトラバースしてPへ戻る

Scene2 ニトヌプリ北峰 ゆったり登ってゆったり降りる、コスパ最高。楽しい斜面。

エネルギーをたっぷりチャージしてスキー班は次なる山へ。こちらもこの時期限定、ほぼ夏道にそって登ります。傾斜が緩めでゆったり登って初心者からベテランまで楽しく滑れるコース。雪もザラメザクザク、春スキー楽しい～、



さっき滑ったチセをバックに。山頂から臨むイワオヌプリ、アンヌプリ。イワオの地熱で雪も解け藪を抜けて山頂とちゃこ、先客おじさん二人ドローン飛ばしてた。
11:45P出発、12:45ニトヌプリ北峰山頂、13:03滑走開始、13:15P着
Sシュー組と合流後解散式。泊り組は早くも心ここにあらず、温泉とその後の至福の1杯が待ち遠しいのか、まっさんヒュッテへ目散。

おまけ1 伊達道の駅解散後、黄金のカタクリ群落を見に寄り道。

国道37号黄金セブンイレブン左折、山に向かってかなり進み高速道路のすぐそば。



斜面を埋め尽くすカタクリの大群落。地元の方の丹精のたまもの

この日は夕焼けも見事でした。

津川さん案内ありがとうございました。

おまけ2 その頃まっさんヒュッテでは、、、

温泉に宴会にスキー談義山談義、楽しい一夜が繰り広げられていたそうな、、、

夕食は豪華にしゃぶしゃぶ、食べて呑んでしゃべってオーナーの松田さんも交え賑やかに。
翌朝、S氏の車がちょっとよれてたのは昨夜の宴の余韻かな？

Dqy2 CL藤木、西田、酒井、水江、澤田、笹山、八重樫、太田 天候:快晴 気温5-8度位
全行程11.5Km、所要 7時間05分

Scene3 目国内岳 我が会の定番、ここに来なくちゃスキーは語れない。

例年この時期に来ているおなじみのコース、長い林道歩きが玉にキズ。新見峠からは心を無にして登るべし、今なら強風も暖かい。前目国内とのコルから見上げる大斜面はいつ見ても素敵。

今日はひととき青空に映えます。山頂ゴツゴツ岩だらけもおなじみ。爆風お出迎えもいつものこと。

(当初蘭越町からの901m峰経由ルート予定でしたが雪解けが早くこちらのコースに変更になりました。そして白樺が追加になりました)



入念に腰回し(特にM氏)。



雪も白い白樺も白い



一段上がって前目国内お出まし



奥に目国内様鎮座



目線もポーズもバッチリよっ！



本日の主役を背に全員で



積丹の山はるか



山頂ゴジラの背びれ。



スキー靴で歩きにくいのよっ！



ニセコ連峰臨む



さてどっちに滑り降りようか



この雪面を降りてきました



山頂は爆風凄まじい。さあ、北斜面か南か、雪が良くない、今回は登りルート(背後の斜面)を滑走することになった

山頂は想定以上に気温が低く雪がカリカリ。北斜面か、南へ降りて登り返すか、藤木Lの判断で登り



タイムライン

7:46 出発
8:43 林道終点
9:24 c892m
9:57 コル
11:05 山頂
11:39 滑走開始
11:54 コル昼食

ルートを降りることに、なんと皆初めてのコースだ。いざ滑ってみると、ほどほどの斜度、長〜く滑れる、登り返しなし、雪崩不安なし、ブッシュなく広々。ニセコ連山に向かって滑り降りるも心地よい。

Scene4 前目国内:ここまで来たらピークを踏まねば。



目国内東斜面大滑走を終えて大満足、お昼も食べてエネルギー補給した我々が次に向かったのは前目国内岳。昨季ラストはガス視界不良強風のためここで引き返した。今年はこの上ない快晴。ここからの目国内は端正で美しい。登ってよし、滑ってよし南北東と違った斜面も魅力的。また来年来るよとつぶやいて次なる滑走へ向かった。

タイムライン 12:25 出発、12:42 前目国内山頂
12:53 滑走開始、13:08 新見峠

普段ならここで帰るところが、この日の我々は留まることを知らない。空が青すぎて頭の中がどうにかなっていたんだろう。もうどうにも止まらない。

Scene5 白樺山 藪コギのち好斜面！グランドフィナーレの1本

新見峠から東にトラバースしながらゆるゆる登るルート。標高差200m、距離も700mだし、すぐよね〜なんて甘かった。登るにつれて雪が少なくなっていく、山頂直下はブッシュ笹ハイマツ藪との格闘。



登り始めてすぐに後悔した人、紫外線を浴びすぎて脳みそ溶けかかった人、やけくそハイの人、藪大好き心が躍る人等等



最終滑走前方向確認。道路の曲がり角目指して降りるのね。了解。疎林のいい斜面でした。

1日3座、2日で5座踏破を果たし笑顔満面、やったぜ タイムライン 13:14出発、14:05山頂、
14:30滑走開始、14:47駐車場

エピローグ 祭りの後に、、、別れの寂しさ



とうとうスキーシーズンが終わってしまった。
寂しいけれど、終わらない冬はない。融けない雪はない。
また来年までしばしのお別れ(๑_๑)



太田記

藤木し、運転ご指導各位に感謝です
写真協力 酒井、西田、藤木、宇田様感謝